## 風土記の丘の花だより236

## 今、そしてこれから見られる植物(2024年5月18日)

一雨ごとに山の緑が濃くなっていくような気がします。雨の翌日、白い花を咲かせるガマズミ、ウツギ、エゴノキの下は落花で、まるで雪が積もったようでした。古代米の田んぼにも水が張られています。早いですね。もうそんな季節になりました。

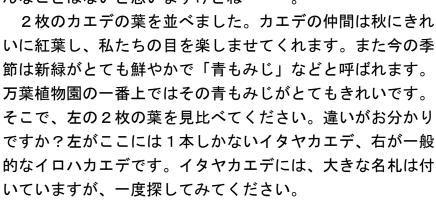


センダンの花が青空に映えます。薄紫の花が枝先にたくさんかたまって咲いています。きれいな花ですが、山上憶良の「妹(いも)が見し あふちの花は 散りぬべし 吾が泣く涙 いまだひなくに」という悲しい歌を思い出して、何となくはかない花に見えてしまいます。歌の中にある「あふち」は「おおち」と発音して、センダンのことです。万葉植物園や修復古墳周辺に大きな木がたくさん植えられています。葉は羽状複葉で細かく分かれています。



ネジキの花が咲いています。透明感のある白色で、釣り鐘状の小さな花をたくさん付けます。ネジキは漢字では「捻木」と書き、樹皮が捻ったように成長するのでその名があります。 ツツジの仲間ですが、この時期に咲くツツジやサツキの花とはずいぶん形が違います。 どちらかというと、ドウダンツツジなどに似ていますね。春、新梢が真っ赤でとてもきれいです。 さらに秋には紅葉し、野山を彩ります。 ただ、有毒植物ですので、間違っても口にしないでくださいね。まさか、そんなことはないと思いますけどね・・・。







旧小早川家の庭でユキノシタの花が咲いています。タンポポやサクラなどと違い、左右対称の花で、上半分と下半分ではずいぶん違いますね。古くから食用や薬用として用いられ、人々との関わりが深い植物で、庭によく植えられてきました。山の中では日陰のジメジメした所に多く自生しています。風土記の丘の西にある金竜大神の参道沿いで大きな群落を見た記憶があります。(最近、行っていませんが・・・)

さて、いつもお読みいただいている花だよりですが、次回

237号は25日土曜日ではなく、週が明けて29日水曜日になります。ご了承ください。松下